

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名:児童発達支援 みんなのき しゅしゅ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		・指定基準を満たしたスペースを確保している。	・使用環境については、その日の予定を全体で共有した上で職員間で連携を取っていく。
	2 職員配置数は適切であるか	3		・基準以上の職員が配置されている。	・園外での活動の時には、1人1人の子どもの動きを予測した上で、全体を見守る職員など手厚く配置する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1		・施設は建物の2階にあり、スロープなどは設置されてない。(園としては歩行が獲得されている子どもを受け入れ対象としている。)	・バリアフリーされていない環境において緊急時等にどのように行動すべきかを避難訓練等を通してイメージしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3		・建物老朽化かつこども園を併設している中での最大限の環境を整えている。老朽化に伴う雨漏り修理など業者に依頼してもコロナの影響で着工に時間がかかることがある。	・危険箇所など定期的に確認を行い、適宜修繕する。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		・日々の活動後には活動に入っていた職員間で振り返りの時間を設けており、次の活動へ繋げている。	・引き続きPDCAサイクルを元に療育を進めていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1		・職員会議や反省会にて情報を共有し、次回以降の活動に生かしている。	・年度末のアンケートやクール末毎に行われる面談での情報をもとに、改善に繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		・保護者待機部屋に閲覧できるようにしているが、感染症対策の為、現在は使用中中止中。	・園内滞在時間を短くするよう協力を求めているため、園内での公表の仕方は見当が必要。ホームページには記載中。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		・定期的に受診している。	・引き続き、法人として第三者評価を受け、課題の共有を行い、改善に努めていく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		・毎朝の職員会議での園内研修と併せて外部の研修に参加している(感染症の為にリモート参加)。	・引き続きリモートでの研修に参加し、職員の質の向上に繋げていく。
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		・相談支援事業所と連携を取りながらモニタリングを実施し、計画に反映すると共に、保護者との面談も踏まえて計画の立て直しを行っている。	・引き続き継続して行っていく。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		・新版K式発達検査などの発達項目を元に、子どもの課題整理を行っている。	・新版K式などの定められたアセスメントシートを活用していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		・児童発達支援ガイドラインを踏まえて児童発達支援計画を作成している。	・引き続き現状の対応を継続していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		・児童発達支援計画を作成し、保護者に確認の上支援を行っている。	・引き続き現状の対応を継続していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		・担任を中心として立案し、会議で共有したのちにより具体的な内容として深めている。	・引き続き職員間で活動の内容を吟味し、振り返りで出た意見も参考に活動プログラムの立案を行っていく。また、様々な視点の意見が取り入れられるように、提案しやすい空気感、日々のコミュニケーションなどの関係性を築いていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		・月案を立てている。また前回までの振り返りを踏まえた上でプログラム内容をより具体化する事で、固定化しないように工夫している。	・引き続き職員間での情報共有を行っていく。また、PDCAサイクルを行い、よりプログラム内容の充実を図る。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3		・子どもの状況に応じて個別活動や集団活動を組み合わせている。	・引き続き行っていく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		・毎朝全体共有を行っている。	・引き続き毎朝の会議での全体共有を行っていく。また、会議の前に各職員が日誌を確認し、事前に活動内容や役割を把握しておく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		・毎回活動終了後に反省の時間を設けている。	・引き続き振り返りの時間を設け、朝の会議で改善点や支援方法を確認し合う事で職員間の情報共有に繋げる。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		・活動後に簡潔に個人記録を残し、振り返りの時間を踏まえて次回以降の活動や支援に繋げている。	・引き続き子どもの様子をシステムへ打ち込むと共に、振り返りを行い、支援の検証や改善に繋げる。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3		・相談支援事業所と連携を取りながらモニタリングを実施すると共に、保護者との面談を踏まえて計画を見直している。	・引き続き併設する相談支援事業所と連携を行い、3か月モニタリングを参照し、見直しを行っていく。また、半年ごとに個別支援計画の作成を行い、保護者との面談を行っていく。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	3		・担任や親担当、個別対応担当職員など、状況に応じた職員が参加している。	・引き続き担任を含めた、担当職員がやり取りを行っていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3		・必要に応じて外部との連携を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1		・医療的ケア児は在籍していない。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1		・医療的ケア児は在籍していない。	・引き続き現状の対応を行っていく。 ・医療的ケア児が来た際をイメージし、すぐに対応出来るように体制を具体化しておく。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		・保育所等訪問支援事業と連携を取りながら情報共有を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		・保育所等訪問支援事業と連携を取りながら情報共有を行っている。また併設する放課後等デイサービスへの移行や、保幼少連携の会議にも参加している。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		・研修などに参加している。	・引き続き、必要に応じて専門機関と連携をとり、助言を受けていく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		・個人情報に配慮しながら併設するこども園と同じ園庭で遊びを展開させながら自然な交流を行っている。また、合同避難訓練や行事などへ参加する事はあるが、機会は非常に少ない。	・個人情報の保護、コロナウイルス感染防止に努めながら交流を持つ機会があれば行っていく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3		・様々な協議会やネットワークビジネス事業へ参加している。	・引き続き積極的に参加していく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		・活動終了後の報告時間や個人面談を通して、共通理解を図っている。また連絡帳やメール、電話などのツールも活用している。感染症対策の為、現在は報告が出来ていない。	・引き続き個人面談、連絡帳、メール、電話などのツールも活用しながら共通理解を図っていく。また、情勢を見ながら報告の時間を再開していく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3		・親時間や卒園児の保護者との交流の場を設けている(現在は感染症対策の為、自粛中)。メールや連絡帳、電話などのツールも有効的に活用している。	・情勢を見ながら、親時間、OB交流会・勉強会の再開を目指す。 ・引き続き半年に一度の個別面談や日々の報告、ノートのやり取りなどで向上を図る。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		・入園時に説明を行っている。変更時は書面も交えて説明を行っている。	・現状の対応を行うと共に、変更点があった際には書面と口頭で丁寧に説明を行っていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3		・半年に一度、面談にて保護者と内容を確認しながら計画を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		・面談、電話、メール、連絡帳などのツールを用いて、随時相談に対しての対応を行っている。	・保護者の悩みに適切に応じられるよう、必要に応じて職員間で検討し返答を行なう。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		・親の会が設立されている。また卒園児の保護者との交流の場を設けている。(交流の場については現在、感染症対策の為自粛中)	・情勢を見ながら、保護者同士の連携を支援していけるよう場を設けていく。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		・子どもや保護者からの意見を振り返りの時間で共有し対策をとっている。また活動までにその対策を職員間で共有している。アンケートなどを取り、定期的に保護者からの意見を貰っている。	・引き続きアンケートや報告、ノートなどでのやり取りをする事で、頂いたアドバイスを職員間で吟味し、対応を行っていく。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		・園だよりを適宜作成し、発信している。	・引き続き保護者が見やすい園だよりを作成する。 ・子ども達には何かがある時には、直接口頭でわかりやすく伝える。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	3		・個人情報鍵付きの棚やパスワードを必要とするPC上にて保管されている。	・常に今の方法が最善かを模索し、必要に応じて職員間で話し合いながら個人情報の保護に努める。また、コロナウイルス関連の情報についても十分に配慮をする。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		・子どもの発達や特性に応じて工夫して対応を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。 ・その都度子どもや保護者がわかりやすい情報伝達の方法を模索していく。
非	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			・個人情報保護のため、地域の人を招待する事はほとんどない。卒園児を招待するお祭りや、月に一度のお話の会は設けている(現在は感染症対策の為、自粛中)。	・情勢を見ながら、個人情報保護を意識した上での地域に開かれた事業運営を行っていく。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		・マニュアルを作成している。また、火災や水害、不審者対応など様々な場面を想定した避難訓練を月に1度行っている。	・引き続きマニュアルの周知と、現状の対応を行っていく。 ・危機管理研修を行っていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		・月に一度避難訓練を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3		・初回面接にて事前に確認を取っている。また、変化する状況を常々職員間で確認を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていくと共に、職員間の情報共有を徹底していく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
常時などの対応	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		・食事は自宅から持参してもらっている。アレルギー対応については指示書を受取、それに基づいた対応を行っている。	・食事を提供する場面では、指示書に基づいた対応を行っていく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		・ヒヤリハット事例集の作成を行い、直後に行われる反省会や翌朝の会議等で全職員へ共有している。	・事例が起こった際には記録の徹底を行うと共に、職員会議での情報共有を行なう。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		・虐待に関する冊子を回覧している。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			・身体拘束は行っていない。行う際には、保護者に確認すると共に、子どもにも十分なやり取りを行ったうえで行う。	・引き続き現状の対応を行っていく。